
県内からは長井高校、谷地高校が出場！
第28回全国高等学校デザイン選手権大会 決勝大会
2/25（土）にオンラインで配信・生中継



写真：「デザセン2021」決勝大会の様子

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）は、第28回全国高等学校デザイン選手権大会（通称／以下：デザセン2022）決勝大会を2023年2月25日（土）にオンラインで開催し、ニコニコ生放送（およびYoutube）で生中継します。

決勝大会当日は、全国612チームの応募の中から、一次・二次審査を通過した10チーム（1チーム2～3名）が、提案内容を7分間の映像としてまとめ、アイデアを発表します。審査員7名のほか、インターネット中継の視聴者が審査を行い、優勝（文部科学大臣賞）以下を決定します。

山形県内からは、長井高校と谷地高校が出場します。

つきましては、県内外の多くの方にご覧いただきたく、取材・広報のお願いを申し上げます。

■デザセンとは

本学が主催する、高校生を対象にした問題解決・提案型の全国大会です。高校生が自らの視点で、社会や地域、身近な暮らしの中から問題点を見つけ出し、その解決策を提案するものです。

何を取り組むべき問題として発見するか、それをどうとらえて探究するか。そして、いかに画期的な解決策を考えだし、その一連の内容をしっかりと伝達できるか。とても難しいことですが、毎年、高校生らしい視点で数多くの提案が寄せられます。

高校内では、探究型学習や課題研究の授業などで取り生まれ、例年、全国から約1,000件もの提案書による応募があります。一次、二次審査を通過した10チームが決勝大会に進出し、公開プレゼンテーションに臨みます。

決勝大会では、教育やクリエイティブなど多様な分野で活躍している審査員との質疑応答により、問題発見の視点とその分析力、探究力、提案力、表現力などを総合的に審査します。

■長井高等学校高校の提案『学校ファンドで創る未来』

阿部 圭人さん（2年）、杉本 真彩さん（2年）

長井高校は、創立102周年を迎えた歴史と伝統がある学び舎です。しかし、古い校舎での学校生活は、何かと不便を感じることも多くあります。施設や設備の整備を実現し、学校の魅力をさらに高めたいと考えたのですが、「長井高校にはお金がない」という先生方の言葉も頭をよぎります。何とかして、私たち生徒の力で、学校をより良くするための資金を集められないだろうか。そうして見つけたのが「学校ファンド」という仕組みです。

■谷地高校の提案『「Let her do/be」～彼女にやらせてみようよ～』

鈴木 紅葉さん（1年）、荒木 遥貴さん（1年）、鈴木 葉月さん（2年）

みなさんは、誰かの決めつけや価値観に悔しい思いをしたことはありませんか？だったらそれを、ひっくり返してみませんか？例えそれがカッコ悪くても失敗しても、「もっと自由に、楽しむことに純粹になる」ことに一步踏み出す人を応援したい。私たちは「Let her do/be」を通し、それを自分に向けても問いかけながら、私が私、あなたがあなたである自由について提案します。私たちと一緒に「やってみよう」という気持ちにワクワクしませんか？

■第28回 全国高等学校デザイン選手権大会（デザセン2022）決勝大会概要

日時：2023年2月25日（土）12:30 開会～17:20（終了予定）

配信：ニコニコ生放送 (<https://live.nicovideo.jp/watch/lv339840834>)

主催：東北芸術工科大学／後援：文部科学省、経済産業省、山形県、山形市 ほか

HP：<https://www.tuad.ac.jp/dezasen/>

<出場チーム（発表順）>

1. 「丸ごと活かす！新ひだか町産和牛「こぶ黒」～端肉をフル活用した地場製品の創出～」
北海道静内農業高等学校
2. 「学校ファンドで創る未来」 山形県立長井高等学校
3. 「「Let her do/be」～彼女にやらせてみようよ～」 山形県立谷地高等学校
4. 「Barcode train」 筑波大学附属駒場高等学校
5. 「探究型学習の理解を目指した教室活動（探究道場）の全国普及」 京都市立堀川高等学校
6. 「税金メーター」 大阪府立淀商業高等学校
7. 「ぼく・わたしがきづく」 兵庫県立兵庫工業高等学校
8. 「「緊急地震速報で開くドア」の開発と設置」 岡山県立玉野高等学校
9. 「色覚体験ゲーム～色覚と生きていく多様性 LIFE～」 徳島科学技術高等学校
10. 「My Life⇄里海PJ」 香川県立高松東高等学校

決勝大会出場10チームの情報は以下をご覧ください。

<https://dezasen.jp/news/3664.html>

■審査員は、教育・地域づくり・クリエイティブの専門家

<学外審査員>

田村学／國學院大學人間開発学部 初等教育学科 教授

大橋マキ／元フジテレビアナウンサー/IFA 認定アロマセラピスト/一般社団法人はっぷ代表

<学内審査員>

中山ダイスケ／審査員長、アーティスト、アートディレクター、本学学長

竹内昌義／建築家、本学建築・環境デザイン学科教授

柚木泰彦／プロダクトデザイナー、本学プロダクトデザイン学科教授、高大連携推進部長

矢部寛明／コミュニティデザイナー、本学コミュニティデザイン学科 専任講師

石沢 恵理／アートワークショップデザイナー、本学美術科 総合美術コース 専任講師

審査員の詳しいプロフィールは以下をご参照ください。

<https://dezasen.jp/>

取材いただける場合は、事前に以下の内容を、大会事務局までご連絡ください。

表彰式後の受賞チームへのインタビューなど、ご対応いたします。

- ① 貴社名
- ② 代表者氏名
- ③ 携帯番号
- ④ メールアドレス
- ⑤ 参加人数

※新型コロナ感染拡大防止対策を目的とした来場者の把握となります。

お手数をおかけいたしますが、ご協力のほどお願い申し上げます。